

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年8月13日
【四半期会計期間】	第21期第2四半期（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）
【会社名】	ルーデン・ホールディングス株式会社
【英訳名】	RUDEN HOLDINGS Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 西岡 孝
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区桜丘町20番1号 渋谷インフォスタワー2階
【電話番号】	03(6427)8088(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 佐々木 悟
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区桜丘町20番1号 渋谷インフォスタワー2階
【電話番号】	03(6427)8088(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 佐々木 悟
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第20期 第2四半期 連結累計期間	第21期 第2四半期 連結累計期間	第20期
会計期間	自2019年1月1日 至2019年6月30日	自2020年1月1日 至2020年6月30日	自2019年1月1日 至2019年12月31日
売上高 (千円)	1,329,439	1,299,052	3,598,007
経常利益又は経常損失 () (千円)	5,576	30,056	5,396
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期(当期)純損失 () (千円)	10,275	13,163	32,652
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	10,267	12,970	32,220
純資産額 (千円)	2,818,885	2,826,790	2,811,065
総資産額 (千円)	3,560,671	3,206,125	3,255,164
1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期(当期)純損失 () (円)	0.83	1.06	2.62
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	1.02	-
自己資本比率 (%)	68.6	76.2	74.6
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	212,727	16,890	771,595
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	141,763	373	140,194
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	22,627	-	22,960
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	1,012,378	1,552,744	1,570,008

回次	第20期 第2四半期 連結会計期間	第21期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自2019年4月1日 至2019年6月30日	自2020年4月1日 至2020年6月30日
1株当たり四半期純損失 () (円)	2.00	0.58

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 第20期第2四半期連結累計期間及び第20期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期(当期)純損失であるため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

新型コロナウイルス感染症による事業への影響については、引き続き今後の状況を注視してまいります。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、極めて厳しい状況にあり、引き続き国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある状況です。

一方、当社グループの既存事業と密接に関連する新築マンション市場、特に首都圏マンション市場におきましては、当第2四半期連結累計期間の供給戸数は前年同期比44.2%減（民間調査機関調べ）となり、上半期としては初めて1万戸を下回る（民間調査機関調べ）等、非常に厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、既存取引先とのさらなる関係強化及び新規法人開拓の強化に注力してまいりました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高1,299百万円（前年同四半期比2.3%減）、営業利益26百万円（前年同四半期は営業損失1百万円）、経常利益30百万円（前年同四半期比438.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益13百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失10百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（ハウスケア事業）

ハウスケア事業に関しましては、マンションデベロッパー及び管理会社との取引関係のさらなる強化及び新規法人開拓の強化に注力するとともに、中古マンション市場の拡大をはかり、また、コロナの影響が比較的少ないアフターメンテナンスに力を入れてまいりましたが、密接に関連する新築マンション市場、特に首都圏マンション市場が非常に厳しい状況で推移したため、売上・利益ともに、厳しい状況で推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間におけるハウスケア事業の経営成績は、売上高533百万円（前年同四半期比10.3%減）、営業利益97百万円（同15.8%減）となりました。

（ビル総合管理事業）

ビル総合管理事業に関しましては、求人募集費及び材料費の増加や現場人件費の高騰に伴う経費増があったものの、新規現場の獲得等があり、順調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間におけるビル総合管理事業の経営成績は、売上高728百万円（同4.4%増）、営業利益33百万円（同20.0%増）となりました。

（総合不動産事業）

総合不動産事業に関しましては、区分所有マンション1戸の販売しか出来ず、厳しい状況で推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における総合不動産事業の経営成績は、売上高36百万円（同2.4%増）、営業損失0百万円（前年同四半期は営業損失6百万円）となりました。

（その他事業）

その他事業に関しましては、本格的な販売には至っておらず、厳しい状況で推移いたしました。

また、当社の子会社であるRuden Singapore Pte. Ltd.のICOについては、総合的に考慮して、前連結会計年度に引き続き、当第2四半期連結累計期間においては収益認識しないと判断し、重要性の観点から鑑みて、連結決算には組み込んでおりません。今後の会計処理については、協議をしたうえで、判断することといたします。また、ICO時に調達した1,700BTCoinについては、今のところ現金化しておりませんが、現段階では現金化の時期や方針について具体的に定まった方針はないものの、資金需要と相場を考慮し、順次、現金化していく予定です。そして、不動産プラットフォームの追加開発についても、新型コロナウイルスの影響もあり現在は未定ですが、状況を見極めながら判断する予定です。

この結果、当第2四半期連結累計期間におけるその他事業の経営成績は、売上高0百万円（同95.5%減）、営業損失0百万円（前年同四半期は営業損失4百万円）となりました。

財政状態の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,999百万円となり、前連結会計年度末に比べ45百万円減少いたしました。これは主にその他が15百万円増加したことなどによる一方、現金及び預金が16百万円、受取手形及び売掛金が18百万円、販売用不動産が28百万円減少したことなどによるものであります。固定資産は207百万円となり、前連結会計年度末に比べ3百万円減少いたしました。これは主に建物及び構築物(純額)が1百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、総資産は3,206百万円となり、前連結会計年度末に比べ49百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は344百万円となり、前連結会計年度末に比べ65百万円減少いたしました。これは主に未払金が15百万円、その他が42百万円減少したことなどによるものであります。固定負債は34百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円増加いたしました。これは主に退職給付に係る負債が1百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総負債は379百万円となり、前連結会計年度末に比べ64百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は2,826百万円となり、前連結会計年度末に比べ15百万円増加いたしました。これは主に新株予約権が2百万円増加したこと及び親会社株主に帰属する四半期純利益13百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は76.2%(前連結会計年度末は74.6%)となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ17百万円の減少となり、当第2四半期連結累計期間の資金残高は、1,552百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は16百万円(前年同四半期は212百万円の獲得)となりました。これは主に法人税等の支払額などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は0百万円(前年同四半期は141百万円の獲得)となりました。これは主に定期預金の預入による支出などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金はありませんでした。(前年同四半期は22百万円の獲得)

(3) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

(6) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の連結業績予想につきましては、本日(2020年8月13日)公表いたしました「2020年12月期第2四半期累計期間業績予想と実績との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	19,767,200
計	19,767,200

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2020年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年8月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	12,476,000	12,476,000	東京証券取引所 JASDAQ (グロース)	単元株式数 100株
計	12,476,000	12,476,000	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、2020年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2020年4月1日～ 2020年6月30日	-	12,476,000	-	2,200,136	-	732,488

(5) 【大株主の状況】

2020年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社ランドネットワーク	東京都新宿区西新宿4丁目32番11号	1,800,000	14.42
西岡 勇人	東京都渋谷区	1,027,600	8.23
加藤 匠翔	東京都港区	950,000	7.61
西岡 夏奈子	東京都渋谷区	688,000	5.51
西塚 美紀	東京都新宿区	500,000	4.00
西岡 史織	東京都港区	380,000	3.04
西岡 里紗	東京都港区	380,000	3.04
西岡 江美	東京都渋谷区	350,000	2.80
森 利子	東京都港区	335,000	2.68
株式会社カプセルデヴィジョン	東京都港区西麻布3丁目5番2号	254,900	2.04
計	-	6,665,500	53.42

(6)【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 200	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 12,474,800	124,748	-
単元未満株式	普通株式 1,000	-	-
発行済株式総数	12,476,000	-	-
総株主の議決権	-	124,748	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が5,200株(議決権52個)含まれておりません。

【自己株式等】

2020年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
ルーデン・ホールディングス株式会社	東京都渋谷区桜丘町20番1号	200	-	200	0.00
計	-	200	-	200	0.00

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

(1) 退任役員

役職名	氏名	退任年月日
取締役	西岡 進	2020年6月26日

(2) 異動後の役員の男女別人数及び女性の比率

男性6名 女性 - 名 (役員のうち女性の比率 - %)

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、霞友有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,570,608	1,554,544
受取手形及び売掛金	300,038	281,441
商品及び製品	116,895	116,895
販売用不動産	406,062	378,061
仕掛販売用不動産	152,159	152,159
仕掛品	1,786	1,766
原材料及び貯蔵品	7,018	5,749
短期貸付金	240,500	240,500
未収入金	45,156	47,993
その他	204,580	219,928
流動資産合計	3,044,807	2,999,039
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	134,015	134,015
減価償却累計額及び減損損失累計額	79,634	80,733
建物及び構築物(純額)	54,380	53,282
機械装置及び運搬具	3,428	3,368
減価償却累計額及び減損損失累計額	3,061	3,047
機械装置及び運搬具(純額)	367	321
工具、器具及び備品	7,276	7,276
減価償却累計額及び減損損失累計額	5,479	5,819
工具、器具及び備品(純額)	1,796	1,456
土地	37,543	37,543
リース資産	10,974	10,974
減価償却累計額及び減損損失累計額	4,578	5,205
リース資産(純額)	6,395	5,768
有形固定資産合計	100,483	98,372
無形固定資産		
その他	10,403	10,403
無形固定資産合計	10,403	10,403
投資その他の資産		
投資有価証券	3,580	3,290
出資金	681	681
破産更生債権等	678,845	688,953
損害賠償請求権	70,057	70,057
その他	86,446	85,578
貸倒引当金	740,142	750,250
投資その他の資産合計	99,469	98,310
固定資産合計	210,356	207,086
資産合計	3,255,164	3,206,125

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	91,895	82,436
短期借入金	2,600	2,600
未払金	154,112	138,197
未払法人税等	19,410	22,940
預り金	44,707	43,437
売上値引引当金	415	554
アフターコスト引当金	1,306	1,217
その他	95,395	52,987
流動負債合計	409,843	344,370
固定負債		
長期借入金	18,183	18,153
退職給付に係る負債	10,647	12,053
その他	5,424	4,757
固定負債合計	34,255	34,964
負債合計	444,099	379,335
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,200,136	2,200,136
資本剰余金	732,488	732,488
利益剰余金	504,397	491,234
自己株式	290	290
株主資本合計	2,427,936	2,441,099
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	667	474
その他の包括利益累計額合計	667	474
新株予約権	382,460	385,215
純資産合計	2,811,065	2,826,790
負債純資産合計	3,255,164	3,206,125

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	2 1,329,439	2 1,299,052
売上原価	835,050	835,034
売上総利益	494,388	464,018
販売費及び一般管理費	1 496,008	1 438,010
営業利益又は営業損失()	1,620	26,007
営業外収益		
受取利息	6,784	3,112
受取配当金	29	37
遅延損害金	-	1,059
その他	969	746
営業外収益合計	7,783	4,956
営業外費用		
支払利息	79	132
為替差損	243	41
控除対象外消費税	263	513
修理代	-	219
営業外費用合計	586	907
経常利益	5,576	30,056
特別利益		
固定資産売却益	-	649
特別利益合計	-	649
特別損失		
リース解約損	-	3,093
特別損失合計	-	3,093
税金等調整前四半期純利益	5,576	27,613
法人税、住民税及び事業税	15,572	14,196
法人税等調整額	280	253
法人税等合計	15,852	14,450
四半期純利益又は四半期純損失()	10,275	13,163
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失()	10,275	13,163

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失()	10,275	13,163
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	192
その他の包括利益合計	8	192
四半期包括利益	10,267	12,970
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,267	12,970
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,576	27,613
減価償却費	1,924	2,111
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,366	10,117
売上値引等引当金の増減額(は減少)	146	139
アフターコスト引当金の増減額(は減少)	212	88
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	1,217	1,406
株式報酬費用	15,220	2,754
受取利息及び受取配当金	6,813	3,149
支払利息	79	132
売上債権の増減額(は増加)	27,233	18,597
破産更生債権等の増減額(は増加)	1,098	10,107
たな卸資産の増減額(は増加)	278	1,289
販売用不動産の増減額(は増加)	9,624	28,001
仕掛販売用不動産の増減額(は増加)	108,887	-
前払費用の増減額(は増加)	2,220	1,758
未収入金の増減額(は増加)	5,704	275
預け金の増減額(は増加)	340	-
仕入債務の増減額(は減少)	3,934	9,459
未払金の増減額(は減少)	9,718	15,915
未払消費税等の増減額(は減少)	13,102	41,481
預り金の増減額(は減少)	1,932	1,270
前受金の増減額(は減少)	359,497	224
その他	16,438	18,722
小計	242,017	5,773
利息及び配当金の受取額	30	37
利息の支払額	0	67
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	29,320	11,086
営業活動によるキャッシュ・フロー	212,727	16,890
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	1,000	1,200
敷金及び保証金の差入による支出	1,711	-
敷金及び保証金の回収による収入	1,443	856
貸付けによる支出	7,760	550,030
貸付金の回収による収入	151,000	550,000
その他	208	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	141,763	373
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	7,844	-
新株予約権の行使による株式の発行による収入	9,321	-
新株予約権の発行による収入	5,462	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	22,627	-
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	377,118	17,264
現金及び現金同等物の期首残高	635,259	1,570,008
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,012,378	1,552,744

【注記事項】

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び一部の連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(四半期連結損益計算書関係)

1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
給与手当	149,845千円	135,341千円
貸倒引当金繰入額	1,890	13,783
退職給付費用	1,217	1,406
アフターコスト引当金繰入額	194	148

2. 売上高から次の金額が控除されております。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上値引引当金繰入額	20千円	1,139千円

3. 前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

当社グループの売上高は、主力事業であるハウスクエア事業において、第1四半期連結会計期間から第2四半期連結会計期間にかけて集中し、増加する傾向があります。このため、各四半期連結会計期間の業績に季節的変動があります。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

当社グループの売上高は、主力事業であるハウスクエア事業において、第1四半期連結会計期間から第2四半期連結会計期間にかけて集中し、増加する傾向があります。このため、各四半期連結会計期間の業績に季節的変動があります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
現金及び預金勘定	1,017,578千円	1,554,544千円
預入期間が3か月をこえる定期預金	5,200	1,800
現金及び現金同等物	1,012,378	1,552,744

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ハウスケ ア事業	ビル総合 管理事業	総合不動 産事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	595,419	697,284	35,955	1,328,658	780	1,329,439	-	1,329,439
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	595,419	697,284	35,955	1,328,658	780	1,329,439	-	1,329,439
セグメント利益 又は損失()	115,663	27,891	6,967	136,587	4,083	132,503	134,123	1,620

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェア開発事業を含んでおります。

- セグメント利益又は損失()の調整額 134,123千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 134,123千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ハウスケ ア事業	ビル総合 管理事業	総合不動 産事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	533,886	728,311	36,820	1,299,018	34	1,299,052	-	1,299,052
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	533,886	728,311	36,820	1,299,018	34	1,299,052	-	1,299,052
セグメント利益 又は損失()	97,432	33,472	187	130,717	500	130,216	104,208	26,007

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェア開発事業を含んでおります。

- セグメント利益又は損失()の調整額 104,208千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 104,208千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(金融商品関係)

当第2四半期連結会計期間(2020年6月30日)

金融商品で時価のあるものが、当社グループの事業の運営において重要性が無く、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動がないため、記載を省略しております。

(有価証券関係)

当第2四半期連結会計期間(2020年6月30日)

その他有価証券で時価のあるものが、当社グループの事業の運営において重要性が無く、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動がないため、記載を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失()	0円83銭	1円06銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失()(千円)	10,275	13,163
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失()(千円)	10,275	13,163
普通株式の期中平均株式数(株)	12,428,910	12,475,800
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	-	1円02銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	-	402,917
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年8月13日

ルーデン・ホールディングス株式会社

取締役会 御中

霞友有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 吉田 恭治 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山崎 安通 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているルーデン・ホールディングス株式会社の2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ルーデン・ホールディングス株式会社及び連結子会社の2020年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。